

平成25年9月の「大阪森林便り」

丸太輸出9割増 円安進み、中国向け5倍 — 1～6月



国産丸太の輸出量が増加傾向です。1～6月は前年同期と比べ約9割増えました。

しかし、国産丸太の輸出は国内供給量の1%程度にとどまっています。

中国向けは前年同期の約5倍、韓国向けは約2倍になっています。

(2013年8月2日 日本経済新聞記事から抜粋)

シカと森と人の葛藤 — シンポジウム「シカが森を食べる」



「シカと森と人の葛藤 — いかに森を育み、シカを管理するのか」と題するシンポジウムが大阪で開催されました。

農産物の価格下落よりもシカの被害のほうがより深刻。シカは異常に増えています。

シカは何でも(特にササ)食べる動物で、2歳から妊娠し繁殖率が高い。

シカは季節によって移動し、高山植物への被害も甚大。

毒性の強い植物等、シカの不嗜好植物だけが残る林地が増加。

(2013年8月5日 東洋木材新聞記事から抜粋)

北米産丸太 下落続く — 対日価格 8月積み

需給緩和を反映



北米産丸太の対日価格が2か月連続で下落しました。前月に比べて1%安くなっています。日本で価格の上昇に対する反発が強まったのが背景にあります。

(2013年8月13日 日本経済新聞記事から抜粋)

マレーシア産丸太 2割高 — 昨年末比



南洋材丸太の国内卸価格が上昇しています。

マレーシア産丸太の価格は、直近安値の昨年末比で2割高くなっています。

(2013年8月27日 日本経済新聞記事から抜粋)

